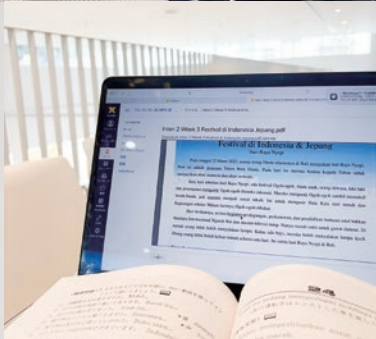


生まれつき「脊髄性筋萎縮症（SMA）」という難病を抱え、電動車いすを使って小学1年生から高校まで通常学級で過ごした。「ずっと友人と先生に恵まれた」とほほ笑む。高校時代から自らの体験を踏まえインクルーシブ社会を目指す社会活動や執筆・発言を続け、メディアに登場することも。入学後は塾生によるニュースサイト「SFC CLIP」で活動するほか、地域福祉を専門とする内山映子研究会に参加している。同研究会は昨年の「SFC万学博覧会2025」で「バリアフリーマップ」を作成した。「私も車いすでSFC内を移動してみたが、一見バリアフリーに見えても、当事者だからこそ気付ける改善点がいくつもあった。誰もが快適にキャンパスライフを送るための提言をしていきたい」



国際学生寮H（イータ）ヴィレッジで生活。
「SFCは私自身でいられる空間です」



現在、マレー・インドネシア語に挑戦中



内山研究会メンバーと